

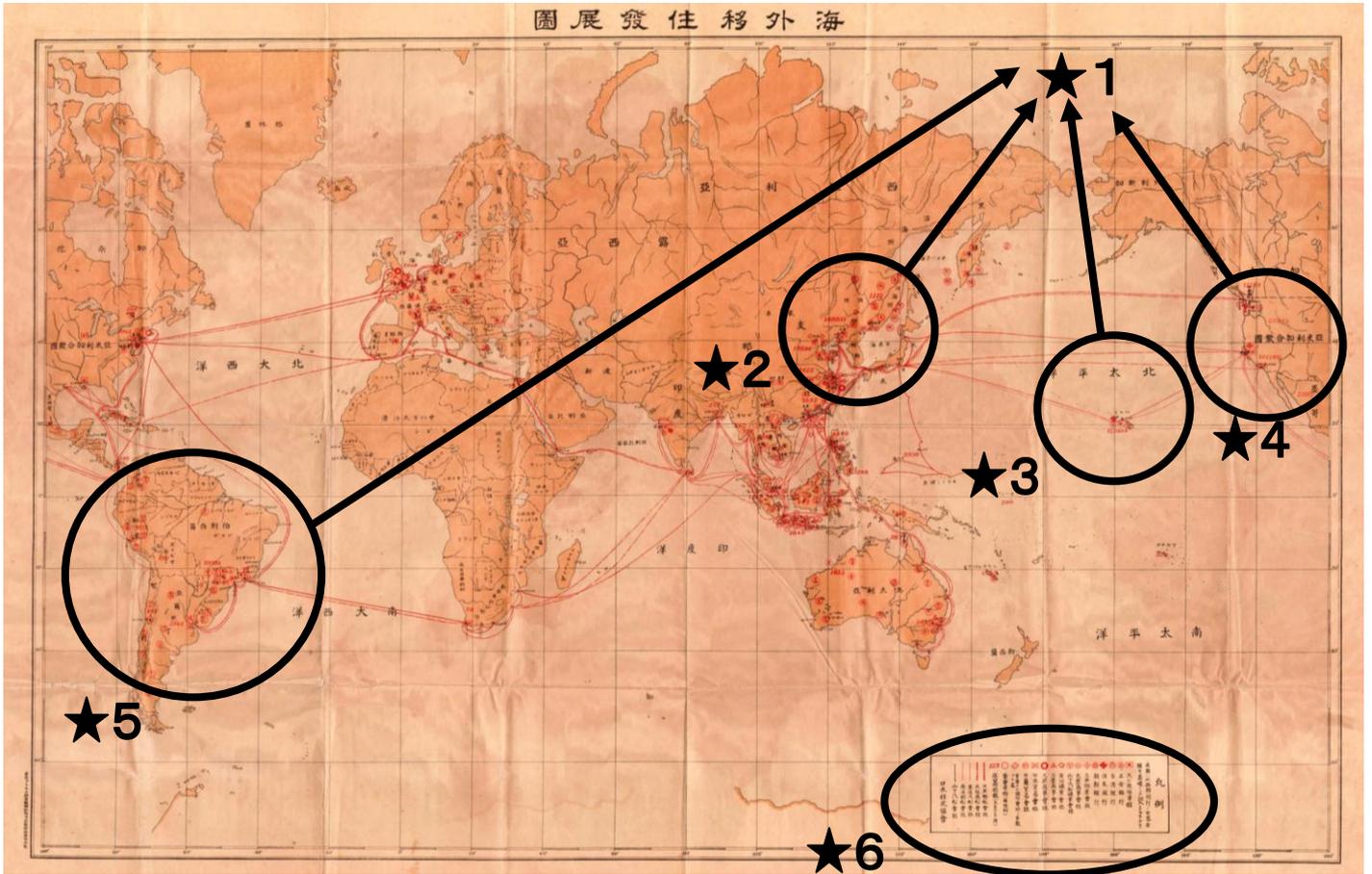
## 授業で使える当館所蔵地図

No. 17 『海外移住発展図』

作成年：1922年頃

サイズ：79×109cm

作者：日本移民協会



### 【解説】

日本は開国後、人口増加の一途をたどり、第2次世界大戦後まで人口は過剰傾向にあった。また、国内産業も第2次世界大戦後まで国民の多くが農業で生計を立て、工業も繊維製品を中心とした軽工業が中心の国家であった。そのため、国内における労働は、農村では地主の都市部では資本家の搾取・圧政が強い傾向にあり、欧米諸国と比較して、労働者の権利や賃金は低い傾向にあった。そのため、第2次世界大戦後まで、日本は移民を送り出す側であった。移民の始まりは、1868年（明治元年）、駐日ハワイ総領事ヴァン・リードの要請から始まった。その後、アメリカ合衆国本土や、ブラジル、ペルー、パラグアイなどの南北アメリカ大陸やフィリピン、マレーなどの東南アジア地域に拡大していく。1932年の満州国の建設により、大量の移民が必要になったため、拓務省が海外移民を積極的に推進することになった。ただし、朝鮮や台湾や後の戦争による占領地などは、内地（日本の領土）とされたため、厳密には移民という扱いではなかった。

### ★1 主な移民先

移民先の邦人数が赤字で記されている。そのうち、人数の多い地域が東アジア地域・ハワイ地域・北米太平洋岸・南米地域となっている。これらの地域に歴史的に多くの日本人が移民をしたことが、この地図から読みとることができる。

## ★2 満州

本地図の邦人数は 1922 年（大正 11 年）となっており、満州国建国よりも 10 年も前になる。しかし中国地域への移民は、華北・華中・華南のそれと比較して群を抜いて多い 16 万 8 千人以上である。このように多くの日本人が移民として満州（中国東北部）に渡っていた事は、日露戦争後に政府が国策として満州の開拓を推奨していた事を裏付ける結果である。

## ★3 ハワイ

ハワイにおける日系人移民の主な労働は、サトウキビ栽培や製糖工場であった。1902 年にはハワイにおけるサトウキビ農場労働者の約 70% が日系人移民で占められていた。1924 年のアメリカ合衆国による排日移民法の制定までに約 22 万人がハワイへ渡った。後に太平洋戦争が始まると彼ら日系移民の一部は強制収容所に入れられた。一般的には全ての日系移民が収容されたと考えている人もいるが、現実には全ての日系移民を収容するのは物理的に不可能であり、またそのころにはサトウキビ農場だけでなく、様々な職種で日系移民が働いていたため、ハワイ経済が崩壊することも予想されたため、アメリカへの帰属心が弱く、また日系移民に対して影響力が強いとされた一部の人たちが収容されたにとどまった。そのため、アメリカへの帰属心を表現する 1 つの手段として、アメリカ軍への参加をする若者もあり、後に太平洋戦線で軍組織の中で活動をしていくことになった。

## ★4 北米

日系アメリカ人の数は 2005 年の統計調査によると、1,221,773 人（アメリカ合衆国人口の 0.7%）にのぼる。日系人コミュニティのうち、カリフォルニア州、ハワイ州、ニューヨーク州、ワシントン州のものが大きい。同じアジア系移民では、中国系移民と韓国系移民も多いが、これら 2 つのコミュニティは集団で相互扶助をおこなったり、チャイナタウンやコリアンタウンなどの民族街を形成したりするのに対し、日系移民はそういったことが少ない。これは、日系移民が地域に同化しようとしていたことも大きい。太平洋戦争期に土地や家屋を所有していた有力日系人が強制収容所へ収容されてしまい、財産を没収または手放さなくてはならなかったことも背景にある。また当時の日系移民一世の生活をよく知るための文献として、保坂帰一（亀三郎）の『吾輩の見たる亜米利加』という小説が存在する。この小説のあらまは、夏目漱石の小説『吾輩は猫である』の登場人物苦沙弥先生の飼い猫「吾輩」が、水甕に落ちた後に蘇生し、汽船に乗ってサンフランシスコに渡り、当時の日系人移民の生活を見聞する内容となっており、当時の日系人移民の生活を知ることができる内容となっている。

## ★5 南米

南米地域には特にブラジルとペルーへの移民が多い。当時のブラジルでは、奴隷制度廃止に伴い、コーヒー農園の労働力が不足したため、日系移民やイタリア系移民が求められていた。そのため、多くの日系移民はコーヒー農園で奴隷同然の生活を余儀なくされた。しかし事前の日本人への説明では、ブラジルでの豊かな生活が謳われていたため、ブラジルへ渡った日系移民はコーヒー農園を逃げ出し、その多くが相互扶助のもと農地を取得し自作農として独立した。1989 年に日本の入国管理法の改正に伴い、多くの日系ブラジル人や日系ペルー人が日本に働きに来ることができるようになった。日系ブラジル人や日系ペルー人の多くは、出稼ぎの男性が多く、また期限付き工場労働者として勤務することが多かった。そのため、日本の景気が悪くなった 2000 年代以降、日本への出稼ぎは少なくなっていた。

## ★6 凡例

当時の日本の海外進出企業のうち、中心的な役割を担った企業が名を連ねている。このうち銀行や商社などは、歴史の教科書などに出てくるものもある。例えば、昭和金融恐慌の引き金となった台湾銀行や、足尾銅山鉱毒事件の古河鉱業、横浜の山下公園に名を残す山下汽船などである。これらの銀行・商社・運輸業が当時の日本を代表する企業であったことがわかる。

【利用の例】

○昭和初期の日本における在留外国人の人口移動を読み取ることができる。

高校の地理 B での活用例

単 元 名		人口、村落・都市	
本時の主題		在留外国人の統計資料・地図資料読み取りから人口移動に関するグローバルな視点を獲得する	
本時の目標		○ 日本における在留外国人数を調べ、日本と関係が深い国々の位置や状況を確認して地図に記す学習を通じて、日本は多くの外国人（技能労働者含む）を受け入れている現状に気づき、その学習の過程を通じてなぜ多くの外国人が日本へ働きに来るのか考察することができる。 (思考・判断)	
	指導の内容	学 習 内 容	指導上の留意点・観点別評価
導入 5分	日本の在留外国人の数と出身国を記録させる ↓ 日本の在留外国人の数と出身国についての概要をつかむ	① 日本の在留外国人数を統計資料から調べ、地図にデータを記入し付箋をはる。  Q 在留外国人はどのぐらいいて、どこ出身だろうか地図に貼ってみよう。  <small>生徒意見</small> → 中国 : 652,555人 韓国・朝鮮 : 530,046人 フィリピン : 202,974人 ブラジル : 190,581人 ベトナム : 52,364人 ペルー : 49,248人 アメリカ : 48,357人 タイ : 40,130人	<ul style="list-style-type: none"> <li>付箋には人数を記入させる。</li> <li>人口が4万人未満の国々は多くなるため割愛する。</li> <li>韓国・朝鮮は在日韓国人、在日朝鮮人が含まれる。</li> <li>旅行者などの短期滞在者は含まれない事を伝える。</li> </ul>
	日本の在留外国人の出身国について調べ、データを付箋に記録して地図「ヨーロッパを中心とした世界地図」に張り付け、まとめる ↓ 日本の在留外国人はなぜ日本へ働きに来ているのか、出身国の統計	課題 在留外国人はどうして日本へ来ているのか、統計資料から読みとった事を基に考察し、外国からみた日本の特徴を知りたい。  ① 各種統計資料を付箋に記入したものを地図に貼付し、それらから日本に来ている理由を考察する。  MQ 統計資料から、在留外国人の出身国の特徴を読み取り、地図にまとめてみよう。  一人当たり国民総所得、国内総生産成長率、乳児死亡率、殺人発生率、世界政治腐敗指数のデータを地図に付箋で貼る。値の高いものは赤で、値の低いものは青ではる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料1「在留外国人母国データ」を用いる。</li> <li>発展途上国では、乳児死亡率が高くなる事や、一人当たり国民総所得が低い傾向がある事を読み取りが困難な場合にはアドバイスする。</li> <li>読み取りや考察が困難な生徒には、アメリカや日本と比べるとどう違うのかというように視点を固定して考察するよう支援する。</li> </ul>
展開 ① 20分			

	<p>資料から読みとり、交流をする</p>	<p>生徒意見</p> <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は外国人の出身国（アメリカ以外）と比べて、一人当たりGNIが高い</li> <li>・日本は外国人の出身国（アメリカ以外）と比べて、乳児死亡率が低い</li> <li>・殺人発生率が低いので、日本は安全な国だと思われる。</li> <li>・世界政治腐敗指数が低いため、日本は政治的公平性が比較的保たれている。</li> </ul> <p>② 統計の外国人が日本でどのような仕事に従事しているのか、資料から考察する。</p> <p>Q 在留外国人はどの地域に多いのか、地域を読み取り、なぜ多いのか理由を考えよう。</p> <p>生徒意見</p> <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都や大阪府、愛知県が多いのは、大都市のほうが中華街などのコミュニティがあり、生活がしやすいからではないか。</li> <li>・東京都や大阪府、愛知県が多いのは、大都市の方が仕事が多いからではないか。</li> <li>・東海地方や太平洋ベルトに多いのは、工業で働く人が多いからではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的な理由以外にも、就学や結婚など多くの理由で在留外国人は日本に滞在するが、今回の授業では経済的な理由のみに限定する。</li> <li>・ 時間を決めておき、短い時間で正確にできるように促すことで、論理的な行動をとれるように意識させる。</li> <li>・ 資料2「都道府県別在留外国人数」を用いる。</li> <li>・ 横浜中華街や神戸中華街の存在から、貿易に関係した港湾施設のそばにコミュニティが作られており、また東京の新大久保や大阪の鶴橋などの都心部にも韓国人コミュニティが作られている事等を紹介する。</li> <li>・ 大都市があるからという理由だけではなく、なぜ大都市が太平洋岸に集中するのかを考察させることで、工業と絡めて考察させる。</li> <li>・ ⑤の資料から、群馬や愛知、静岡、岐阜などに在留外国人が多い理由を日本の工業の分布と絡めて考察させる。</li> </ul>
<p>展開② 15分</p>	<p>なぜブラジルやペルーのような遠隔国から日本へ来ているのか歴史的資料から読みとる</p>	<p>③ なぜ日本から最も遠い南米から働きに来ているのか、大正時代の地図から追究する。</p> <p>深める</p> <p>Q なぜ地球上では日本のほぼ反対に位置するブラジルやペルーから多くの人々が日本に働きに来ているのか地図資料から読みとろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>資料3「海外移住発展図」を用いる。</b></li> <li>・ 地図を用いて生徒が交流をする言語活動の時間を十分に確保する。</li> </ul>

	↓ 日本とブラジル、ペルーとの関係性について理解をする	生徒意見 → ・ブラジルやペルーには大正時代、多くの日本人が移民として移り住んだため、その子孫が日本に来ている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本は移民を基本的に認めていない事、日本が在留を認める要件と、日本で労働をする場合の現状を生徒に伝える。</li> <li>日本に昔から多く居住する中国国籍や韓国・朝鮮国籍の人々の状況もここで解説をする。</li> </ul>
まとめ10分	国際的な人口移動についてまとめる ↓ 国際的な人口移動について理解し、諸外国との関係性を考察する	<p>④ 国際的な人口移動には、経済的な豊かさ等を求める移動である集中型移動と、政治的・宗教的・飢餓などから生命の危険を回避するための移動である分散型移動である難民についてまとめる。</p> <p>⑤ 演習問題を行い、知識の定着を図る。</p>	<p>○ 日本と比較して、日本に在留する外国人の出身国がどのような状況にあるのか資料から考察させるとともに、日本は諸外国からどのように見られているのか考察することができる。</p> <p>(思考・判断)</p>

### 資料1 「在留外国人母国データ」

日本の在留外国人の出身国データ

	経済			教育・衛生		治安		政治		
	GNI	一人当たりGNI	国際競争力	乳児死亡率	合計特殊出生率	殺人発生率	世界政治腐敗指数			
日本	5兆7,395億	48,324	18位	9位	2.0	1.4	0.35	197位	7.80	161位
中国	6兆6,432億	5,957	109位	29位	13.0	1.6	1.00	166位	3.50	100位
韓国	1兆390億	23,180	44位	25位	4.0	1.2	2.60	125位	5.40	139位
北朝鮮	124億	582	196位	ランクなし	26.0	2.0	15.16	43位		非公表
フィリピン	2,097億	3,087	143位	59位	20.0	3.1	5.39	92位	2.40	44位
ブラジル	2兆1,077億	11,169	79位	56位	14.0	1.8	21.76	27位	3.70	109位
ベトナム	1,111億	1,640	159位	70位	17.0	1.8	1.57	146位	2.70	62位
ペルー	1,514億	6,229	106位	61位	14.0	2.5	10.32	62位	3.50	100位
アメリカ	15兆1,482億	52,013	14位	5位	6.0	1.9	4.67	97位	7.10	156位
タイ	3,083億	5,550	112位	37位	11.0	1.6	4.76	96位	3.50	100位
単位	ドル	ドル			%					
平均値		11,536			35.0	2.56				

2012年 ※世界平均 2012年 2013年 ※世界平均 ※世界平均 1995-2011年

### 資料2 「都道府県別在留外国人数」

人口1万人あたりの都道府県別の在留外国人人口を示した地図を利用。